

2023年10月17日(土)~8日

秘蔵の完成見学会

3LDK

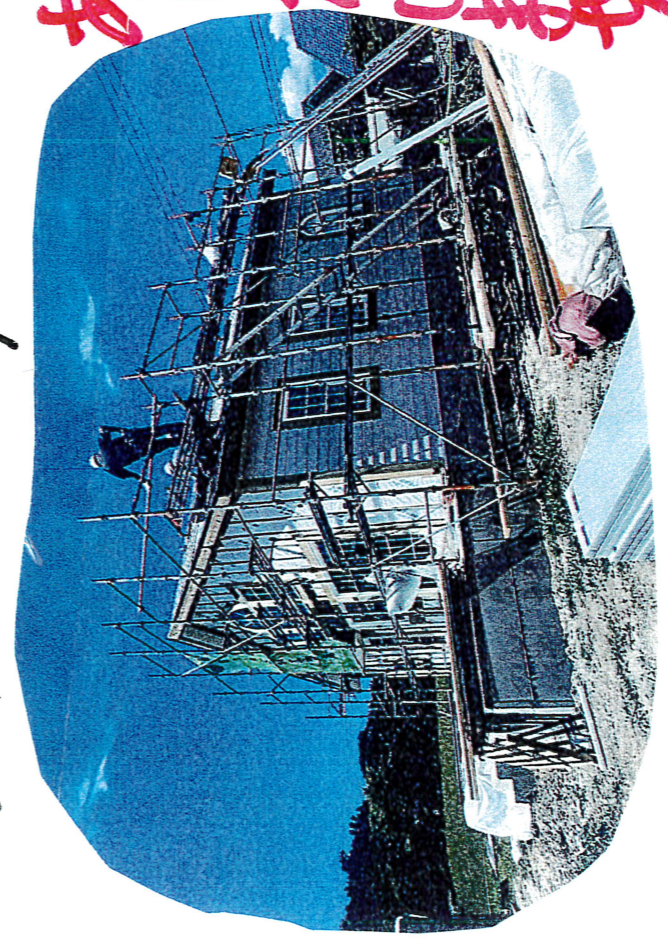
AM 10:00 ~ PM 3:00 まで(有)の受付
予約制です。 工務店。
0470-68-4848

御福台 225-3

断熱材付
バルコニー



暑中お礼状



希望の家へ
お礼状
吹付



バルコニー
断熱材



5R/28

千葉県東葛飾区御福台225-3
127-111 木下建設

2023年8月 千葉県勝浦市J邸 完成しました。

(有)株式会社
工務店
0470-68-484

V7-1012 邸



3LDK 61坪 2x6工法

大採光バルコニー

希望の家づくり
お手伝いします。



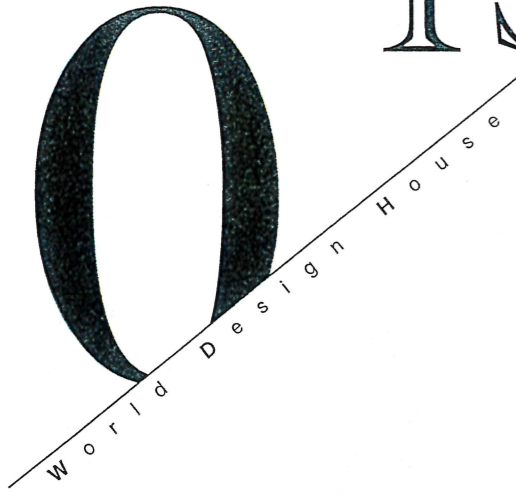
ハンドメイド洗面台



ハンドメイド食器棚



TSURUOKA KOUJIMUTEN



American Style

気配りのきいたデザインと
隙のない「おおらかさ」

千葉県 N邸

Photo_Kazunari-HIROI 広井一成
Text_Hisao_ONOZURA 小野塚久男



Facade

「最初からこの色に決めていました」と、ご主人が語るブルーグレーのラップサイディングが印象的なN邸。上品な色合いは、まわりの自然に違和感なく溶け込んでいる。天然の芝を張った広い庭の手入れもすべてご主人自ら行っているが、「アメリカにいた頃、知人たちが時間をかけて庭を手入れする姿を見て、自分も家を建てたら、同じようにやりたいと思っていました」。

Owners Voice

「海外の暮らしが長かったので、国内の住居は利便性優先でマンションでした。人生のセカンドステージを考える年齢になり、自分の好きなモノやコトに囲まれて暮らす時間にふさわしい家がほしい、と。リゾートのような明るさと開放感がありながら、心を落ち着け、穏やかに過ごせる大人らしい空間をイメージした家づくりは、大成功だったと思います」





Corridor

寝室が並ぶスペースから、リビングダイニングへ抜ける廊下は、頭上の壁にゆるやかなカーブを描き、空間にやさしい印象を与えている。床は無垢のバイン材を使用した。ここで暮らしながら、年月が経つにつれ少しずつ色が変わり、風合いが増すのを楽しみにしているという。正面のハーフラウンドの窓がデザインのアクセントとなっている。



Living room

計画当初から「絶対に置きたいと思っていました」という薪ストーブが、存在感を放つリビングルーム。平屋のため、天井の勾配もデザインの一部として取り入れている印象だ。勾配天井に備えたトップライトからも光が押し込み、晴れた日は窓越しに青空を見ることができ、リゾートのような明るさ、そして開放感を実現している。



Dining room

天井の勾配、ハーフラウンドの窓など、N邸のデザイン性の高さが集約された光景。壁、天井、窓枠はすべて白で統一し、床のフローリング、キッチンカウンターのパネル、そしてダイニングテーブルには木目を強調することで、白と木目のコントラストを意識した。家具は家の完成に合わせて新しく購入したもので、リゾートのような開放感と、シックな大人らしさを全体でうまく表現している。



Kitchen

リビングダイニングは白+木目を基調にしているため、「キッチン少し雰囲気を変えたかった」とご主人は語る。メンテナンスのしやすさも考慮して、床にはテラコッタのタイルを敷き、レンジフード奥にはグレーのタイルを張った。壁には黄色を使うなど、確かにリビングダイニングとはテイストが異なる。白+木目のベースに、異なる素材や色を組み合わせることで個性を際立たせている印象だ。



Living & Dining

ダイニングと、その向こうにキッチン。オープンキッチンとすることで、ダイニングスペースとのつながりを表現している。「オープンなのですが、お客さんから内側が見えないように、カウンターは少し高めにしています」とのこと。調理中の手元や、向こう側に置かれている食材、調理器具を見せず、全体的にすっきりした印象を損なわないためだ。

アメリカでの生活から発想を膨らませ サーフィンなど、趣味を楽しむための基地へ

仕事の関係で、合計15年ほどアメリカのロサンゼルス近郊に暮らしていたNさん。家づくりの原点は、そこでの暮らしにある。

「友人・知人の家を訪ねる機会も多くありましたが、室内はおおらかなつくりで、天然芝の広々とした庭があり、バックヤードには庭を手入れする道具を入れた小屋が建っていました。自分でもそういう家を建てたいと思うのは、自然な流れだったと思います」

趣味のサーフィン、ゴルフを存分に楽しむことを優先して土地を選び、家の構想を少しずつ具体化させていった。平屋、明るく開放感のある間取り、白と木目を生かした寛ぎの空間……。ハウスメーカーもいくつか検討したが、Nさんのイメージに近い施工実績が豊富だった、つるおか工務店を選んだ。

「ロスで住んでいた家が平屋だったので、それは最初から決めていました。LDKが中心の

間取りにするの決めては、アメリカらしいおおらかさは、間違えると間延びした空間にもなりがちです。つるおか工務店とも相談しながら、そこに注意しましたね」

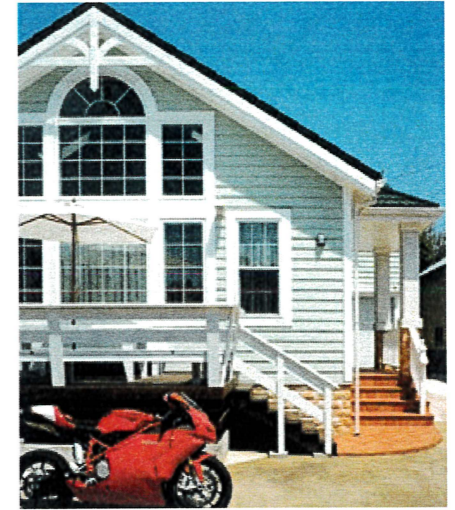
白と木目を基調しながら、ポイントとなる場所に別の素材や挿し色を使う。直線で構成される面に、ゆるやかなラウンド形状を使う。細部まで行き届いたデザインが、Nさんが求めたおおらかさを実現していた。

VARIATION



ぬくもりあふれる南欧スタイルの家

リゾート感たっぷりの地中海沿岸の南欧建築を忠実に再現した邸宅。青空によく映える暖色系の塗り壁とオレンジ色のスペイン瓦、滑らかな曲線とデザインタイルが調利したぬくもりのある佇まいは、輸入住宅デザインに精通している「つるおか工務店」ならではの、高さのある勾配天井を生かした開放感のある室内も、施主の理想をカタチにした贅沢な空間を実現している。



雄大な自然を感じるハワイアンハウス

モスグリーンの屋根とエメラルドグリーンの壁面とのコントラストが絶妙な外観。テラスの床は茶、手すりは白と塗り分けて、ハワイ風の雰囲気を演出している。ハワイ好きなオーナー夫妻の好みを反映したもので、現地の家の単純な模倣ではなく、施主の好みやライフスタイルに合わせて一緒に家をつくりあげるのが「つるおか工務店」のスタイル。



サンルームを中心にぬくりに包まれる家

エルドラドストーンの外観が重厚感と温かみを感じさせるこの家の中心は、2階のリビングに隣接したイギリス製サンルーム。ゆるやかに傾斜した地形を利用して半地下のビルトインガレージも設けられている。サッシはマーヴィン、EPS工法でサンドイッチパネルと、ハイレベルな住宅性能を実現。家族と愛猫に上質な暮らしをもたらす輸入住宅だ。



南欧スタイル輸入住宅の先駆け

1990年代末、まだ輸入住宅といえば北米風が主流だった時代に、オーナーたっでの希望で建てた南欧風住宅。テラコッタタイルや屋根瓦などの部材をスペインから直輸入し、太陽に映える漆喰仕上げの白い外壁が印象的だ。竣工から10年後にはリフォームを施し、長く快適に住み継いでいける、スペイン風輸入住宅の模範ともいえる上質な住まいだ。

INFORMATION

有限会社つるおか工務店

TEL 0470-68-4848

営業時間 / 8:00~18:00
 千葉県夷隅郡御宿町久保2039
 施工エリア / 千葉県、東京都、神奈川県、埼玉県、茨城県(その他の施工エリアは相談)
 保証・メンテナンス / まもりすまい保険・住宅瑕疵担保責任保険加入、10年保証、メンテナンス迅速に対応

カタログ請求は
P000を
ご覧ください。



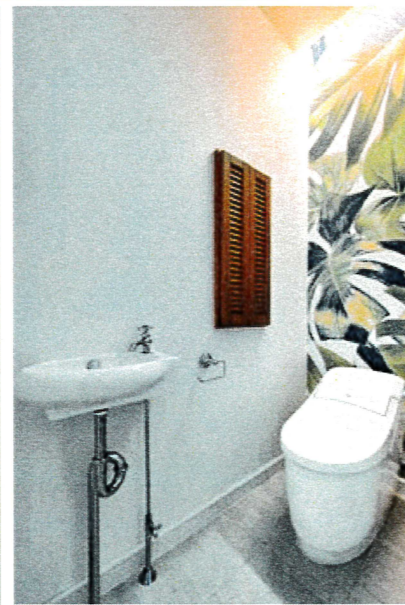
Terrace

カバードポーチ、広々としたテラスも「家を作るなら、絶対に欲しいと思っていました」とご主人。テラスのベンチ、手すりなどの白は、ご主人が定期的に自分で色を塗り直し、メンテナンスも行っているという。夕方、テラスでビールグラスを傾けるのは、至福のひとつ。お子さん、お孫さんたちが遊びに来たときは、賑やかにバーベキューを楽しむことも。



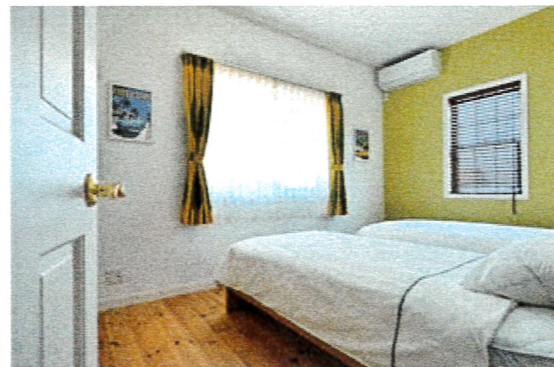
Powder room

ページのクロス、造作した収納を合わせ、シンプルにまとめたパウダールーム。鏡の下にはモザイクタイルを張るなど、シンプルさの中に、少しずつデザイン的な要素を織り込んでいくのがN邸のスタイルだ。



Rest room

キッチンと同じ考えて、「ちょっと雰囲気を変えたかった」というトイレは、壁紙に南国がモチーフのモンステラ柄のクロスを使い、リゾート感を強調している。壁に備えた収納も、造作してもらったもの。



Bed room

主寝室を含めたベッドルームは、それぞれベースとなる色を変えている。写真の寝室は黄色をベースに、緑の入ったカーテンを合わせた。他の寝室はグレー、グリーンをベース色として、別の空間に仕立てている。

千葉県 N邸

竣工 / 2019年
 延床面積 / 103.92㎡